



その先の感動へ

感動の余韻 ~お客様アンケートより~

Noism×鼓童『鬼』 [2022.7.1-3]

凄いとしか出できません。言葉に表せないくらい心に残る印象的な作品でした。芸術と芸術の組合せが斬新でした。新しい知識を学ばせて頂くことができました。(10代)



両者のコラボが初めてだったなんて!共演することは宿命だったのでは?今後も更なる境地をみてみたいです。佐渡の伝説が目の前に繰り広げられたよう!(40代)

M&O playsプロデュース

『鎌塚氏、羽を伸ばす』 [2022.8.24]

演者さん達のお芝居はもちろんのこと、照明、映像、セットがとても素敵でした。今回初めて「鎌塚氏」シリーズを見たので過去作品も見たりました。(20代)



そんなに期待せずに(失礼!)行ったのに、まあ、とっても面白かったです!時間があっという間に過ぎました。歌も聞けて、芸達者な皆さんをタノウしました。(60代)

ジュニアオーケストラ・フェスティバル2022 in NIIGATA [2022.8.21]

コロナ禍で、学校と両立して演奏するジュニアたちに感動しました!!ジュニアオケの活動を通して、大きく成長することを祈っています!(30代)



新潟に居ながら全国のジュニアオケが聴けてとても楽しかったです。地域ごとでカラーが出ており楽しめました。出演者の子供たちも良い経験になったと思います。(40代)

りゅーとぴあ室内楽シリーズNo.44

3人の女神 [2022.9.23]

ギターとヴァイオリンのアンサンブルはとても素晴らしいです。まるで世界中を旅しているような雰囲気でした。(50代)



息の合った素敵な音色でした。3人がそれぞれ主役になったり、特殊奏法で支えあったりして多彩なバージョンで聴くことができとても満足しました。おしゃべりも楽しかった。(60代)

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

① 春風亭小朝 独演会 第二十三回公演



公演日
3月30日(木)19:00
会場:劇場

抽選で
ペア2組4名様

② Noism2定期公演vol.14+ Noism1メンバー振付公演2023



公演日
4月22日(土)17:00
会場:劇場

抽選で
ペア2組4名様

③ 藤木大地&みなとみらいクインテット



公演日
5月3日(水・祝)14:00
会場:コンサートホール

抽選で
ペア2組4名様

応募方法:(1)ご希望の公演名(2)氏名(3)〒住所(4)電話番号(5)年齢(6)本誌を入手した場所(7)本誌へのご意見・ご感想を記入の上、はがきかE-mailでご応募ください。

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.71プレゼント係」present@ryutopia.or.jp

応募者の中から抽選し、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。2023年2月28日(火)必着

お問い合わせ 休館日:毎月第2・第4曜日、年末年始(12/29~1/3) ※祝日の場合はその翌日

■館内案内・プレイガイド	TEL.025-224-5622(11:00~19:00)
■チケット専用ダイヤル	TEL.025-224-5521(11:00~19:00)
■施設利用お問い合わせ	TEL.025-224-5621(9:30~18:00)
■N-PAC mate友の会事務局	TEL.025-224-5631(平日 10:00~18:00)
■事業企画部	TEL.025-224-7000(平日 10:00~18:00)
■新潟県民会館	TEL.025-228-4481
■音楽文化会館	TEL.025-224-5811

りゅーとぴあホールスポンサー(敬称略 50音順)

石井酒造株式会社

開志専門職大学
KAISHI PROFESSIONAL UNIVERSITY

Kayano 株式会社

力 ャ ジ

誠実さと信頼の名のもとに
SIANCE 株式会社

Show!

STYLE
Branding Design

LINK UP

PHOTOGRAPHY

Ryutopia Magazine 2023 Winter vol.71 2023年1月1日発行

発行:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内)
制作:株式会社 新交企画 デザイン:株式会社 U-STYLE 印刷:島津印刷株式会社

りゅーとぴあ
新潟市民芸術文化会館
https://www.ryutopia.or.jp

vol. 71

2023 Winter

Known as "Ryutopia," the Niigata City Performing Arts Center was founded in October 1998 as the hub of performing arts, offering a varied range of music, theater, dance, and traditional Japanese Noh

plays from the heart of Niigata City. The performance halls boast superb facilities and expert theatrical stage staff, promising an exceptional artistic experience to visitors and users alike. Ryutopia aims to be an art venue that meets the expectations of both audience and performers, while contributing to the appreciation of the performing arts.



Life with Performing Arts

ピアノは人生を懸けて取り組むべき価値がある。

2021年9月に開催された第122回東京交響楽団（以下：東響）新潟定期演奏会で、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を披露し、新潟の聴衆を魅了したピアニスト、三浦謙司さん。お客様からの熱烈なラブコールに応え、ピアノ・リサイタルシリーズ「りゅーとびあ」再登場となります。公演を前にお話を伺いました。

三浦謙司 MIURA Kenji

2019年11月ロン・ティボー・クレスパン国際コンクール優勝。1993年神戸生まれ。4歳から自らピアノを始め、13歳で単独渡英、ロンドン・バーセル・スクールに入学。2011年ベルリン芸術大学入学、クラウス・ヘルヴィヒ氏に師事。2012年夏、音楽の世界から一度離れることが決意、日本で様々な仕事をしながらボランティア活動にも参加。2014年4月ベルリンのハンス・アイスター音楽大学に再度入学、エルダー・ネポルシン氏に師事。ワーナークラシックス・ジャパンより2022年11月4日、新アルバム《アイデンティティ》をリリース。



©Harald Hoffmann
©Fondation Long-Thibaud

——東響新潟定期への出演は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い合唱付きの作品が演奏できなくなり、急遽のオファーでした。

急で驚きましたが、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番は大好きな作品です。これまで演奏機会がなく、人生初は東響との共演により、八王子公演の予定でした。しかしその前日に急遽新潟定期が入り、人生初はりゅーとびあに、協奏曲を2日続けて弾ける機会はまづないので、貴重な経験になりました。

——その演奏が素晴らしい、今回の招聘へと繋がりました。

新潟のお客様に自分を覚えていただけたことが素直に嬉しいですね。温かいお客様で、初めて演奏した土地にも関わらず、何人かの方は立ちながら拍手してくれました。また協奏曲を聴かれた上で、それが評価されてリサイタルへと繋がった経験もないので、すごく有難いですね。

——公演チラシに「音楽に対する信念を貫くために、一度ピアノをやめた男」と書かれています。

子どもの頃にピアノを始めて、5歳でピアニスト

Information

りゅーとびあピアノ・リサイタルシリーズNo.45 三浦謙司 ピアノ・リサイタル

【日時】2月19日(日)14:00開演 【会場】コンサートホール
【料金】S席 3,000円 A席 2,500円 B席 2,000円
【プログラム】ラヴェル:ソナチネ

リスト:詩的で宗教的な調べ S173/R14 - 第3曲
孤独の中の神の祝福
リスト:ワーグナー - 楽劇「トリスタンとイゾルデ」から
「イグリルの愛の死」S447/R280
ブゾーニ:J.S.バッハ - 無伴奏ヴァイオリン・パルティータ
第2番 ニ短調 BWV 1004 第5曲「シャコンヌ」ほか



になると自らの意思で決めたわけですが、人生を左右する大きな決断をそんな年齢ではできないですよね。とはいえたものの頃から始めたことは、周りよりも巧くなる。巧くなればなるほど、ピアニストに向けて一直線に道が開かれる。でもその道を辿っていいのか?人生軽すぎではないか?との疑問を、15歳あたりから抱き始めました。

——とはいえ、音大へ進学されました。

自分に賭けをしました。13歳からイギリスの音楽学校へ留学し、世界レベルの音大3校（イギリスのロイヤルアカデミー、ドイツのベルリン芸術大学、アメリカのカーティス音楽院）を受験するよう先生から勧められました。「全部合格したらピアノを続けよう」と、賭けの結果に将来を委ねることにしたんですね。結局すべてに合格し、ベルリン芸大へ進学しました。でもこのような選択では心にしこりが残り、19歳で中退して、一度ピアノから離れる決意をしました。ただ一方で、「ピアノには戻るだろう」とも思っていました。

——ピアノに戻るきっかけは?

ベルリンから日本に帰国し、1年3ヶ月が経過し

——1年以上ものブランクを経て、ロン・ティボー・クレスパン国際音楽コンクールでの優勝は本当に凄いですね。激動の人生を知ると、新潟でのプログラムにも俄然興味が湧きます。

前半はラヴェルとリストの作品を演奏しますが、この二人のコンビネーションが好きです。音楽を聴く分には似ていませんが、楽譜を見て作品と向き合うと、音色の作り方が似ているなと感じます。二人ともオーケストレーションに長けていたので、それが理由かもしれません。後半はショパンのバラード第3番から始まりますが、1曲取り上げるならブゾーニが編曲したバッハのシャコンヌです。諸説あるのですが、数か月ぶりに演奏旅行から戻ったバッハが最愛の妻の死を知り、すでに完成していたバルティータ第2番の終楽章に追悼の意を込めてシャコンヌを付け加えたと言われています。

けがれを知らぬ「祈り」がテーマの作品の直後に、あえて対比として一番人間らしいドロドロとした愛情の作品を続け、最後は愛した人が亡くなり寂しい境地に至る、という一連のドラマで2時間を締めくくります。

——最後にメッセージをお願いします。

リサイタルは選曲が何より重要で、今回も熟考しました。単に凄かった、音が綺麗だったでは終わらぬよう、何かを感じ取っていただけるコンサートにしたいです。ぜひ心を開いて聴いてください。

主体性を持って今の時代を駆け抜ける桜姫と男二人の一部始終を見届けて。

さまざまな視点から歌舞伎にアプローチし、現代社会や時代性を踏まえた作品として上演してきた木ノ下歌舞伎。待望の新作は鶴屋南北の傑作『桜姫東文章』。演出には国内外で活躍する演劇カンパニー「シェルフィッシュ」主宰の岡田利規さんを迎えます。作品を監修・補綴した木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一さんに、作品の見どころを伺いました。

木ノ下裕一 KINOSHITA Yuichi

1985年、和歌山市出身。小学3年生の時、地元の公共ホールで落語「蛇含草」を聞き衝撃を受け、古典芸能全般を独学。京都芸術大学進学後は古典と現代の舞台芸術の両方を学び、在学中の2006年、木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『黒塚』『東海道四谷怪談一通し』『心中天の網島』『義経千本桜』『渡海屋・大物浦』『糸井版 横州合邦社』など。2015年に再演した『三人吉三』にて読売演劇大賞2015年上半期作品賞ノミネート。2016年に上演した『勘進帳』の成果に対し平成28年度文化庁芸術祭新人賞受賞。第38回（令和元年度）京都府文化賞奨励賞受賞。渋谷・コクーン歌舞伎『切られの与三』（2018）の補綴を務めるなど、外部での古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。平成29年度芸術文化特別奨励制度奨励者。

取材・文／本間千英子



©Naoko Azuma

——岡田利規さんに演出を依頼した経緯は。

岡田さんはいつか一緒にやりたいと思っていた、新作を作ると決めてお声がけしました。2020年にプロジェクトがスタートし、『桜姫東文章』を含むいくつかの候補作を二人で検討したんですが、俳優が若者言葉をゆるゆると動きながら語るシェルフィッシュ独特の演技体は、世間で話されている生の言葉をセリフにした南北の「生世話（きぜわ）」のリアリズムに近いと感じたんです。岡田さんは文語体のセリフ作品はもちろんのこと、オペラも上演し、鶴屋南北戯曲賞を受賞した「未練の幽霊と怪物」『挫波』『敦賀』では能様式の現代化を取り組むなど、言葉の引き出しが多い。一方、岡田さんも「この物語はモラルと反モラルを描ける作品にできそうでドラマ的に興味が持てる」とおっしゃったので『桜姫東文章』に決まりました。岡田さんが桜姫にどんな現代の光を当てるかが大きな見どころです。

——この作品で目指すものは?

桜姫は冒頭、手が開かない障がいを持つ設

Information

さくらひめあづまぶんじょう 木ノ下歌舞伎「桜姫東文章」

【日時】2月26日(日)13:00開演 【会場】劇場
【料金】全席指定 5,000円 U25 2,500円 【作】鶴屋南北
【監修・補綴】木ノ下裕一 【脚本・演出】岡田利規
【出演】成河 石橋静河 ほか



代の女性に近づけるには、居すまいから強い意志が匂ってくる存在感と主体性が必要。石橋さんはそれをお持ちだし、また女性的な柔らかさとボーアッシュの両面がある。説得力ある現代の桜姫になりうる稀有名俳優さんです。ためらいなく息をするように人を殺せる倫理観のない権助と、繊細でモラルを厳守していたのに、恋をして一気に道を踏み外す清玄の二役を演じられるのは、演技の幅が広く、繊細さと野性的な強さを併せ持った成河さんしかいないと思いました。他にも芸達者な俳優さんがそろいましたので、それぞれの役をどう面白く演じてくださるか期待しています。

——りゅーとびあのお客様へのメッセージを。

木ノ下歌舞伎として新潟に来たのは2015年の『黒塚』が最初。見知らずの劇団なのに、たくさんのお客さんに来ていただいて嬉しかったですし、劇場文化がしっかり根付いている土地なんだと思います。りゅーとびあでは最先端の舞台芸術が上演されている一方、世阿弥の流刑地である佐渡島も近く、新と古の両方がある。今回の『桜姫東文章』も江戸時代の演目でありながら、フェミニズム、モラル、障がいの問題など現代につながるテーマを含んでいます。今の時代に蘇った桜姫と権助、清玄の三角関係の顛末を見届けてください。

2023 WINTER/SPRING RYUTOPIA NAVIGATION

2023年、冬～春のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は、本誌折込のりゅーとぴあ
カレンダーをご覧ください。

2023年度 新潟定期演奏会

東京交響楽団 プログラム発表!

通算公演数130回を超えた「東京交響楽団新潟定期演奏会」。2023年度シーズンは、例年に増して個性的なラインナップ5公演を揃えました。2022年度よりも年間公演数が1公演減となりましたが、内容の濃さは充実!来シーズンも存分にオーケストラの音色をお楽しみください。

第131回 6.4(日)17:00 2024年度での引退を宣言した井上道義。マエストロ自身が作曲した作品など、なかなかお目にかかれないので貴重なラインナップを指揮します。

指揮:井上道義
チェロ:上野通明



Program —
武満徹:3つの映画音楽より 第1曲
映画『ホゼートレス』から
「訓練と休息の音楽」
第3曲 映画『他人の顔』から
「ワルツ」

井上道義:交響詩『鏡の眼』
エルガー:チェロ協奏曲
ホ短調 作品85
エルガー:南国にて 作品50

第133回 9.24(日)17:00 ヴィオッティこだわりの「英雄×英雄」。変ホ長調の勇ましいサウンド、4管編成の大管弦楽の迫力は絶品。「英雄の生涯」は東響新潟定期で初演奏です。

指揮:ロレンツォ・ヴィオッティ

Program —
ベートーヴェン:交響曲第3番 変ホ長調
作品55「英雄」
R.シュトラウス:交響詩「英雄の生涯」
作品40



第135回 12.3(日)17:00 冬シーズンの到来に、美しいバレエ音楽はいかがでしょうか。新潟市ジュニア合唱団の歌声と管弦楽の音色が織りなすチャイコフスキイの音物語です。

指揮:川瀬賢太郎
合唱:新潟市ジュニア合唱団

Program —
チャイコフスキイ3大バレエ選集
『白鳥の湖』『眠りの森の美女』
『くるみ割り人形』より



第132回 8.20(日)17:00 マルチな才能を發揮して活躍する鈴木優人が、得意とする宗教的エッセンスの込められたプログラム「宗教改革」「讃歌」を指揮する注目公演。



指揮:鈴木優人 ソプラノ:中江早希、澤江衣里 テノール:櫻田亮 合唱:にいがた東響コーラス

Program —
メンデルスゾーン:交響曲第5番 二短調 作品107「宗教改革」
メンデルスゾーン:交響曲第2番 変ロ長調 作品52「讃歌」

第134回 11.12(日)17:00 音楽監督ジョナサン・ノットが今年聴かせてくれるのはベートーヴェン「田園」。牧歌的で暖かなアンサンブルをノット監督が描き上げます。

指揮:ジョナサン・ノット
ピアノ:ゲルハルト・オビツ

Program —
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第2番
変ロ長調 作品19
ベートーヴェン:交響曲第6番
ヘ長調
作品68「田園」



1回券より、定期会員が断然お得!

2023年度の5公演分のチケットを、お得な料金でまとめてご購入いただけるほか、さまざまな特典付き。詳細はりゅーとぴあHPをご覧ください。

定期会員募集 2.18(土) 受付開始

- N-PAC mate友の会フレンズ(RF～)→11:00～
- チケット専用ダイヤル 025-224-5521及びオンライン・チケットにて同時受付
- インターネット会員(W～)→18:00～
- オンライン・チケットにて受付

今注目を浴びるピアニスト二人による豪華2台ピアノ公演

2021年ショパン国際ピアノコンクールで日本人として50年ぶりに第2位入賞の快挙を成し遂げた反田恭平。そして、2021年エリザベート王妃国際コンクール第3位入賞の務川慧悟。2020年にもCDをリリースしている二人が、コンクールを経て、再び2台ピアノでタッグを組む。曲目はオーケストラ版の元となったブームス「ハイドンの主題による変奏曲」ほか。この貴重な機会をお聴き逃しなく。



務川慧悟(ピアノ)

反田恭平(ピアノ)

UX開局40周年記念
反田恭平&務川慧悟 2台ピアノツアーアー2023

■2.3(金)19:00開演 ■コンサートホール

異色の経歴を持つ三浦謙司。こだわり抜いたプログラムでクラシックファンの心を射止めます

ベルリン芸術大学入学後に約1年ピアノから離れ、「自分はなぜピアノを弾くのか」という問い合わせに向き合い続けてきた三浦謙司。2019年にロン・ティボー・クレスパン国際コンクールに優勝し、その名を世界に知らしめました。りゅーとぴあでは、2021年の第122回東響新潟定期にて拍手喝采を浴び、お客様からの熱烈なラブコールに応え再び新潟に登場します。「なぜピアノを弾くのか」その答えはこの演奏会に詰まっているのではないか。



©Jeremy Knowles

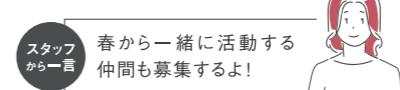
三浦謙司(ピアノ)

りゅーとぴあピアノ・リサイタルシリーズNo.45
三浦謙司 ピアノ・リサイタル

■2.19(日)14:00開演 ■コンサートホール

ジュニアが春を連れてくる! あふれる元気と笑顔をお届けします

邦楽合奏団、合唱団、オーケストラ教室の3教室からなる、新潟市ジュニア音楽教室による毎年恒例の合同コンサート。それぞれの持ち味を生かしたステージからは音楽の楽しさや喜びが伝わってきます。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となり、2年ぶりの開催です。まだ今までどおりの練習はできていませんが、今できる精一杯のパフォーマンスを繰り広げる元気いっぱいの子どもたちの姿をご覧ください。開場中には、各教室のアンサンブル演奏によるウェルカムコンサートをコンサートホール内で行う予定です。



スタッフ
から一言
春から一緒に活動する仲間も募集する!



新潟市ジュニア音楽教室 第19回スプリングコンサート

■3.25(土)14:00開演 ■コンサートホール

春の訪れに舞う「ラ・ヴァルス」今シーズン最後を彩るのは、新たな季節を告げる華麗な音色

新潟の厳しい冬が去り、新しい季節、新しい生活を目前に心躍る3月。そんな時期に似合うのはやはり「華やか」で「美しい」音楽。2022年度東響新潟定期のシーズン締めくくりは、フランス語で「ワルツ」の意味をもつラヴェル作曲「ラ・ヴァルス」を筆頭に、R.シュトラウス「ばらの騎士」そして、業界大注目のヴァイオリニスト・金川真弓によるコルンゴルトの協奏曲の3本立て。オペラ経験豊富なりオ・クオクマンの指揮で、華やかかつドラマティックに描かれる音楽に包まれて、春の訪れを感じることができるでしょう。



金川真弓(ヴァイオリン)



リオ・クオクマン(指揮)

東京交響楽団 第130回新潟定期演奏会

■3.26(日)17:00開演 ■コンサートホール

人気の二人が爆笑の話芸を披露 嘶の世界にどんどん引き込まれていきます

出囃子に乗って、落語家が高座に登場。林家たい平・桂宮治が、それぞれ異なる演目を口演します。演目は当日のお楽しみ!明るく楽しい話芸を、皆様にご堪能いただきます。落語は“生”が一番です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



林家たい平

桂宮治

特撰落語会
■2.10(金)14:00開演 ■新潟県民会館 大ホール

上質な和の空間で、 野村万作・萬斎の狂言をお楽しみください

人間国宝野村万作と、狂言のみならず俳優としてもドラマ・映画・舞台などで幅広く活躍の場を広げる野村萬斎による狂言公演を今年も開催します。万作演じる太郎冠者が、主人のみかんを食べてしまった言い訳が秀逸な「柑子」、萬斎演じる太郎が、虚栄心と生への執着の間で右往左往する「鎌腹」などオススメ演目が満載です。狂言ならではの笑いの世界をどうぞご堪能ください。



狂言「柑子」 狂言「鎌腹」

野村万作・萬斎狂言公演
■2.11(土・祝)13:00・17:00開演 ■能楽堂

祝・能楽講座開講10周年！リクエスト投票第1位を獲得した能「葵上」をどうぞご堪能ください

2022年の春、若手能楽師の4人組と歌人の梅内美華子さんによる能楽講座「能楽師に聞く能の楽しみ」が早くも10周年を迎えるにあたり、4人を中心とした能楽公演を開催します。上演曲は過去にご紹介した講座の10曲の中から皆様にリクエスト投票いただき「葵上」に決定しました。源氏物語でおなじみの「葵上」ですが、能の作品として見どころの多い曲としても有名です。六条御息所が激しい嫉妬の怒りで鬼女となり、修験者と戦う場面は華やかで見応え抜群！どうぞお楽しみください。

解説 梅内美華子
仕舞「田村カリ」佐々木多門
仕舞「三輪」友枝真也
仕舞「野守」大島輝久
能「葵上」塩津圭介



字幕タブレット貸し出しサービスあります！
解説字幕(日本語・英語)タブレットを貸し出します。(500円・台数限定)
※どのお席でもご利用いただけます。



能「葵上」

「能楽師に聞く能の楽しみ」10周年記念 リクエスト能「葵上」(喜多流)
■2.23(木・祝)13:30開演 ■能楽堂

WORK SHOP

春休みはりゅーとぴあ能楽堂へ遊びに行こう!!

毎年人気で定員オーバーするほどのお申込みをいただく好評企画「さわってみよう能の世界」、今年度は春休みに開催します！プロの能楽師みずから能の世界をご案内する、小学生対象の体験と鑑賞がセットになった約2時間のワークショップです。第一部は能楽で用いられる小鼓や太鼓などの楽器に触れたり、檜舞台に立って能の動きを体験します。第二部の鑑賞は初めての方にもわかりやすい能の演目の中から、見どころの多い後半を抜き出して上演する「半能」形式で、同行のご家族も一緒にご覧いただけます。春休みの日曜日、ぜひご家族お揃いで能楽堂へお越しください！

こども能楽たいけん☆ワークショップ「さわってみよう能の世界」

■3.26(日)14:00開始 ■能楽堂

※お申し込み方法はりゅーとぴあカレンダーへ!!



三谷幸喜の伝説の舞台が25年ぶりに上演決定！三谷自身の初演出で、内野聖陽と瀬戸康史が出演！

NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」など多くのドラマや舞台作品を手がける人気劇作家・三谷幸喜。三谷の傑作二人芝居「笑の大学」が四半世紀ぶりに上演されます。ファンの中でも特に人気が高く、ロシア語、韓国語、中国語、フランス語等にも翻訳上演され海外でも絶賛されながら、1998年以降一度も日本で上演されていない伝説の舞台です。「託したい俳優さんに出会うまでは再演しないと決めていた」と三谷が語る不朽の名作が、自身の初演出でよみがえります。出演は、舞台や映画など幅広く活躍する内野聖陽と、「鎌倉殿の13人」での好演も話題となった瀬戸康史です。どうぞご期待ください！

作・演出:三谷幸喜
出演:内野聖陽・瀬戸康史



瀬戸康史

内野聖陽

PARCO劇場開場50周年記念シリーズ 「笑の大学」
■3.11(土)13:30・18:00開演 3.12(日)13:30開演 ■劇場

春季公演恒例の“APRICOTメンバー演出”舞台！今年はなんと劇場で開催！

春季公演では定番となった「メンバー演出」ですが、今年はなんと劇場という大舞台に挑戦します！メンバー演出舞台を劇場で上演したのは、2010年春季公演「ドッペル」のたった一度だけ。実に13年ぶり、2回目のチャレンジです。コロナ禍で制約だらけの活動の中でも、子どもたちは「演劇がやりたい！」気持ちに溢れています。彼らのエネルギー溢れる春季公演にご期待ください。春休みはぜひご家族で劇場へ！

スタッフ
から一言

自分たちの思い通りに創作できるメンバー演出舞台。でもその裏には日々頭を悩ませるリーダーたちの姿があります。時にはぶつかったり、涙を流したり。楽しいことだけじゃない、たくさんのドラマを経て迎える本番は達成感もひとしおです。



APRICOT2021春季公演『砂の妖精』

演劇スタジオ キッズ・コースAPRICOT2023春季公演
■3.18(土)14:00開演 3.19(日)12:00・16:00開演 ■劇場

市川海老蔵が十三代目市川團十郎白猿を襲名！ 市川團十郎という大名跡が9年ぶりに復活!!

歌舞伎十八番の内『勘進帳』を披露。七世團十郎が初演し九世團十郎が洗練して今日まで上演を重ねる屈指の人気作。主君を命懸けで守る弁慶を新團十郎が勤めます。迫力と緊張感漂う名作をご堪能ください。口上では舞台上に袴姿の俳優がそろい、一人ひとりよりお祝いの口上が述べられます。十三代目市川團十郎からは、ご来場の皆様へ襲名披露のご挨拶を申し上げます。出演は市川團十郎と人間国宝の中村梅玉、市川右團次ほか。

製作:松竹株式会社



市川團十郎

十三代目 市川團十郎白猿 襲名披露巡業
■3.18(土)12:00・16:30開演 ■新潟県民会館 大ホール

春陽も粹に水都寄席！ 珠玉の話芸をどうぞお聴き逃しなく！

落語のみならず、執筆活動、ドラマやバラエティ番組の出演、ジャズ演奏、オーケストラの指揮、プロデュース公演など、あらゆるジャンルにてその才能を發揮している春風亭小朝。2015年に芸術選奨文部科学大臣賞、2020年春には紫綬褒章を受章するなどその実力は計り知れません。一瞬にして劇場を笑いと感動の渦に巻き込む至芸は必聴です。現代の落語界で人気・実力ともに当代随一の花形落語をどうぞお聴き逃しなく！



春風亭小朝

春風亭小朝 独演会 第二十三回公演
■3.30(木)19:00開演 ■劇場

りゅーとぴあの心強い応援団!
ホールスポンサーご紹介
Ryutopia's Reassuring Supporters! Introduction of Hall Sponsors

いしもと たつのり
石本龍則社長に聞きました!

FILE NO.1 石本酒造さま



石本酒造株式会社

明治40年創業。幻の酒と謳われた「越乃寒梅」が淡麗辛口ブームの火付け役となる。以来、新潟を代表する銘柄として国内外で広く愛されている。

〒950-0116 新潟県新潟市江南区北山847-1
TEL:025-276-2028

りゅーとぴあHPで石本社長のロングインタビュー掲載中!



INTERVIEW

世界に誇る新潟のブランド、石本酒造。どんな会社か教えてください。

私で四代目となります。戦後、高度成長の時代も儲けに走らず品質本位の酒造りを貫き、キレのよいすっきりとした味わいを追求してきました。

業界雑誌や全国紙に次々に掲載されたことがきっかけで、需要が供給を上回り「幻の酒」と呼ばれたこともあります。気軽に飲んでいただくランクのお酒であっても手を抜かず上質なものを造ってきましたが、この考えは今でも脈々と受け継がれています。

2016年に45年ぶりに新商品「越乃寒梅(sai)」を、2022年に「浹(amane)」を発表するなど新しい展開にも積極的です。

社長自身ドラムを演奏されますね。

学生の頃からドラムをやっています。実は地域の小学校で演奏ボランティアを6年間したこともありますよ。校歌をロック調にアレンジして演奏しました(笑)。

最初驚いていた子どもたちが「何これ、かっこいい!」と目を輝かせ、校歌の大合唱が起きました。その時、共に心を震わせて幸せになる感覚を味わいました。

お酒と舞台芸術の共通点は。

どちらも生活の必需品ではありませんが、あると生きる喜びが倍増する素敵な仕事です。私たちは、仕事を通して人の幸福をつなぎたいと考えていて、きっと通じるところがあると思います。

舞台芸術の世界でも、演者と観客が共鳴し合う瞬間があると思いますが、お酒の造り手とお客様との関係もよく似ていると思います。

今後りゅーとぴあに期待することは。

これからも、さまざまな舞台芸術を届けてください。文化を残すためには、本格的な芸術と、誰もが楽しめる企画、その2つのバランスと継続が大切だと考えています。

私たちもその一助となり、地域貢献したいと願うばかりです。



りゅーとぴあ専属オルガニスト・石丸由佳の
オルガン武者修行!

北欧とドイツの二拠点生活をしていた石丸さんに、コンクールシーズンである「夏」がやってきました。

文・写真提供:石丸由佳

急遽コンクールの計画変更!?

夏。フィンランドで開催されるオルガンコンクールに挑戦しようと準備を進めていると、応募者が少なく中止になったとまさかの連絡が。そこで急遽計画変更、先生にフランスのシャルトル国際コンクールを勧められます。フランスは未知の土地だった上に、課題曲が幅広くルールも厳しいコンクールのよう気が進まなかったものの、時期的に他に選択肢がなく、渋々受けることにします。録音審査を通過し降り立ったパリには、北欧やドイツにはなかなか本格的な日本食レストランが何軒もあり、頑張る自分へのご褒美と言いかせて滞在中何度も和食を食べに行きました。(むこうで珍しい日本食は例えラーメンでも高級食なのです)



オフィシャルウェブ▶

石丸由佳 ISHIMARU Yuka

新潟市生まれ。りゅーとぴあで初めてバイオルガニストに触れたことがきっかけでプロの道へ。10か国100か所以上でのコンサートを経て、今に至る。

「5台ピアノの世界」新潟・三重 公演レポート!

出演:ピアノ・ツィルクス(白石光隆、田村 緑、中川賢一、デュエットウ かなえ&ゆかり)

りゅーとぴあでは3年ぶり、三重県文化会館では2年ぶりの開催となった「5台ピアノ」の公演。カワイ、スタインウェイ(2台)、ベーゼンドルファー、ヤマハと、各メーカー最高級のグランドピアノ5台を所有する会館は全国でも稀ですが、この2館はメーカーに加えて機種まで同一のピアノを所有しています。その縁もあり、共同制作での開催となりました新潟・三重公演の模様をレポートします。

◆新潟は満席!三重も1000人近くのお客様が!

24回目の開館記念日に開催となった新潟は約1800席が完売、三重も1000人近くのお客様が訪れました。どちらの公演も5人のピアニストが登場した瞬間に「おかえり~!」と手を振るお客様がたくさんいました。



見事な二人羽織!

◆ツィルクス(ドイツ語でサークス)の名にふさわしい演出!

ガーシュウィンの「ラブソディイン・ブルー」では、5人の名人芸が炸裂。中でも、普段はピアノデュオとして活躍するデュエットウは、二人羽織で超絶技巧を披露。ホールは大興奮に包まれました。

◆アンコールだけは別?!

アンコールは、デュエットウの木内佳苗さんが新潟と三重のために作曲した作品をそれぞれの会館で披露。タイトルは新潟が「信濃川悠々」、三重が「あの日、夏空」。あまりに美しい旋律と見事な情景描写に、涙を流す方も多数でした。



はじめての能楽鑑賞!

～能楽初心者の方へ～

演劇企画課のKさんに聞きました!

「一度は生で能楽を見てみたい!」そう思い立っても、演目選びなど初心者には不安や疑問が尽きません。そこで「初めて能楽を観に行く」というハードルを越えるためのヒントを、演劇企画課スタッフのKさんに聞きました。

演劇企画課／Kさん

能楽公演を担当して15年以上。能楽の魅力を尋ねられた途端にアツく語り出す、りゅーとぴあで誰よりも能楽を愛するスタッフ。



【日本全国 能楽キャラバン! in新潟】
「観世流特別公演～道成寺～」

[日時] 1.7(土) 13:00開演

[会場] 能楽堂

全席指定 S席 10,000円 A席 8,000円
B席 6,000円 U25(B席) 4,000円

【能楽師に聞く能の楽しみ】10周年記念
リクエスト能「葵上」(喜多流)

[日時] 2.23(木・祝) 13:30開演

[会場] 能楽堂

全席指定 S席 5,000円 A席 4,000円
B席 3,000円 U25(B席) 2,000円

能楽入門!～リクエスト能～編～を11:00-11:45に開催!
参加費無料・申込不要・直接能楽堂にお越しください。

Q1 「読書芸人」として知られるオードリーの若林さんが、世阿弥を題材にした漫画「ワールド イズ ダンシング」を推していましたね。

能楽を題材にした漫画がとにかく嬉しいです。芸の良さが分からなかった少年(世阿弥)が舞の魅力に目覚め、後に能を大成させる物語。舞のシーンの躍動感がとにかく華美で、ぜひ多くの方に読んで欲しいです。

Q2 能楽は「難しそう」「ハードルが高い」といった印象がありますが、実際いかがですか?

ある能楽師に「能は2.5次元ミュージカルの元祖。物語を3次元で実写化したもの」と言われました。それをお聞きし、身近に感じるようになりました。また能は「動きがない」といった印象を抱く方も多いですが、実は違います。総ひのきの美しい舞台、美術品とも言える能面・能装束を着けた役者の壯麗な舞、鏡板に反響してから客席へと立体的に迫りくる囃子(楽器)と地謡(コラス隊)の高揚感…本当に動きも音もダイナミックなんです。

Q3 鑑賞前に、準備することはありますか?

事前にあらすじを予習しておくといいですね。また当館では、本番数日前に「プレ講座」を開催することも多く、こちらに参加いただぐと100倍楽しめます。

Q4 能楽初心者の方へオススメの演目は?

「源氏物語」を題材にした「葵上」です。皆様のリクエスト投票で第1位だった、随一の人気演目です。また能舞台に吊られた特大の鐘に主人公が飛び込む「道成寺」もオススメ。大掛かりで新潟ではめったに上演されない貴重な作品で、ストーリーも分かりやすいです。実は両演目とも、この冬にりゅーとぴあ能楽堂で上演されます。途絶えることなく600年以上も続く能樂の魅力とは何なのか?ぜひ確かめに来てください!

